

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	03180-1	事業名	療育相談事業	部名	健康福祉部(子ども総合センター)
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			室名	子ども支援室
	基本施策	02:子育て支援			財 会計	一般会計
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり			務 款	民生費
	戦略プロジェクト				科 項	児童福祉費
				目 目	児童福祉総務費	

② 目的・概要	対象	発達障がいや疑いのある子どもとその家庭
	目的	発達障がい児の早期発見とフォローのために、発達につまずきを持っている子どもとその家庭を対象に、療育的視点(子どもの発達に合わせた治療教育的な関わり)を取り入れた相談を個別や集団で行う。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称	個別療育	計画値			
		補足	個別の状況による実施	実績値	76	80	51
		単位		件	件	件	
	② 名称	集団療育	計画値				
		補足	1グループ5人 週2回 10回を1クール 年4コース	実績値	400	400	400
		単位		件	件	件	
成果	① 名称		計画値				
	補足		実績値				
	単位						

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					個別の支援が必要な児童に対して個別療育を行った。 年間51回 実人数7人 平成26年度より肢体不自由・病虚弱等の重度障がい児童受け入れ数を増やしたため、療育実施件数は減少をしているが、療育に伴う相談が30件あるため、実質81件の対応実績がある。  集団での適応等目的に応じ、10回を1クールとし、5名の小グループで集団療育を行った。 年間80回、延べ50人 実人数としては同じ児童が複数回の療育に参加しているため39人となった			
				計画額	予算額	決算額	総人件費 ① 3,701	
	事業費			4,188	3,867	一般職員人件費 ② 3,701 平均給与額×③		
	国庫支出金					所要人員 ③ 0.50		
	県支出金					臨時職員人件費 ④		
	地方債					受益者負担額 ⑤		
	その他					受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥		
	一般財源			4,188	3,867			
	再	翌年度への繰越額		0				
	掲	前年度からの繰越額		0	0			
			①	3,701				
			⑥	7,568				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	子どもの発達の特徴に合わせて訓練的な要素を取り入れた遊びをもとに、子どもの発達促進につなげた。また、主な養育者となる保護者に対して具体的な関わりの方法についてアドバイスをを行いながら、育児の不安、負担を軽減の軽減に努めた。 理学療法士や作業療法士などの多様な職種が加わり、療育に関する調査研究を開始した。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	幅広い障がい種別に対応できるような療育体制の整備が必要である。
	【改善の方向性】	亀山市医療センターの協力を得ながら療育に関する調査・研究をすすめてつ、「児童発達支援センター」の設置に向けた具体的検討を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども支援室長 宇野 勉
--------------	---------	-----------------------